

チーム名	木寺ゼミナール	大学・学部	明治大学政治経済学部	多摩川ステージ
プラン名称	家族でよくばりグランピング ～たまにはタマでたまった疲れをまったり癒そう～			
リーダー名	福永夢真	テーマ	かわまちづくりを意識した「観光まちづくりプラン」	事務局記入欄
指導教職員名	木寺元			
メンバー名	矢作旭、斎藤絢子、木野崎菖、福永夢真、河守田慎吾、池田颯、田村友里、山根冴月			

01.企画の背景

現状

- ◆ 川は不便だから行かない。
- ◆ 人口減少（50年後は32%減）
- ◆ 少子化

- ◆ 駐車場跡地を利用可能
- ◆ 準則の規制緩和で一ノ宮公園を利用可能

FWで魅力の再発掘

- ◆ アクセス良好
- ◆ 大学が多い
- ◆ 観光資源がたくさんある
- ◆ 市民活動活発



親子を川辺に

親

子

- ◆ 子供を自然で遊ばせたい
- ◆ 家族団らんしたい
- ◆ 子育ての緊張から解放されたい

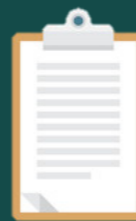
- ◆ 自然の中で遊びたい
- ◆ 友達を増やしたい
- ◆ 非日常でワクワクしたい

親子のための週末グランピング

- ◆ **グランピング**とは、アウトドアの楽しさと高級ホテルの快適さのいいとこどりをした新しい自然体験
- ◆ **手軽！×本格！** 宿泊は手軽に、アウトドア体験は本格的に、半都市型グランピングの提案！
- ◆ **フォトジェニック！** テント内にフォトスポットを用意。子どもの笑顔がなによりフォトジェニック！
- ◆ **団らん×プライベート** 親子のアクティビティと、親だけ、子どもだけのアクティビティを用意していいとこどり！

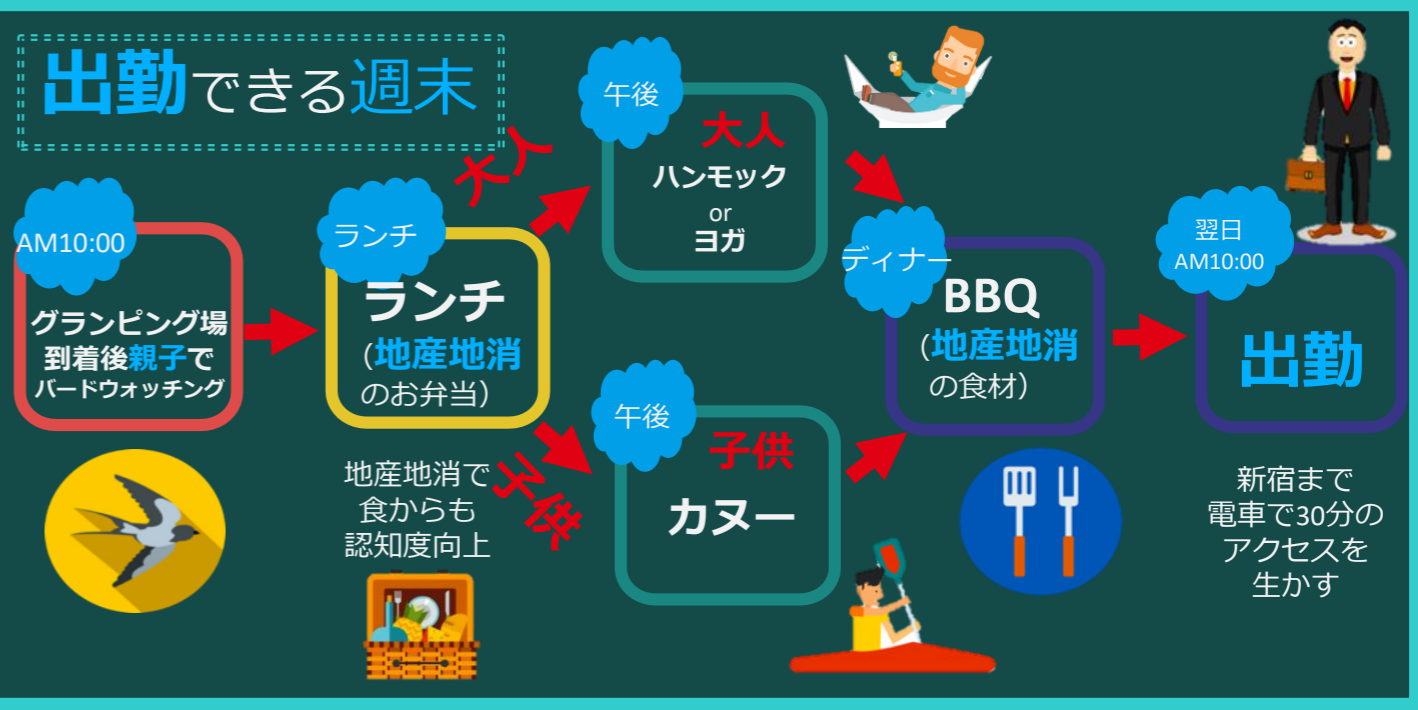
02.プラン内容

頻度：毎週土日
定員：16張り（1張り3～4人）
旅行日数：1泊2日
料金：2万円（1人あたり）



構成した旅行プランのうち
の1例を紹介

出勤できる週末



03.実現計画

規制緩和を利用して事業化

- ① グランピング施設の運営に乗り出す**企業の公募**
- ② **駐車場跡地**にグランピング施設を**建設**
→ 駅から川までまっすぐ出られる通路を確保
- ③ **社会実験**として運営を行い、公益性や川に賑わいをもたらすことができているかを検証
→ 日陰、トイレなどの役割を果たす
→ 防災関連施設としての機能を防災訓練などで実証
→ PR方法を用いて集客
- ④ **占有主体**として承認
- ⑤ 一ノ宮公園などの河川区域までアクティビティを**拡大**

04.効果

$$2\text{万円 (旅行費)} \times 56\text{人 (人数)} \times 7\text{割 (稼働率)} \times 52\text{週 (1年間)} = \text{約}4076\text{万円}$$

アクセスを生かして出勤できちゃう **日月ツアー** → **約5824万円**

土日ツアー客の2割が行くと... **サンリオへ** → **約6000万円**

